

令和2年8月26日

島原市長 古川隆三郎 様

島原中心市街地街づくり推進協議会

会長 隈部政博

島原中心市街地の活性化に向けた、「イオン島原店」への

「文化ホール」の設置についての提案書

島原市長様におかれましては、当会の諸事業の推進に際しまして、特段のご理解とご支援を賜りまして、深く感謝を申し上げます。

さて、島原市の中心市街地の活性化に向けて当会も、森岳街づくり研究会、中央地区活性化研究会、市有地利活用研究会、鯉の泳ぐまち地区研究会、堀部邸活用研究会、文化財登録研究会の六つの研究会を柱に、これまで、街づくり調査や提言、視察研修やまちづくり講演会などの活動を実践して参りました。

そのような中、昭和48年に島原市の中心地域に開店した大規模商業施設を代々引き継いできた現「イオン島原店」が本年5月末に閉店しましたが、一昨年、閉店計画の話をお聴きし、私たち島原中心市街地街づくり推進協議会におきましても、昨年来、「イオン島原店」の存続を求めて、関係各位に要望等を行って参りました。そうした経過を踏まえて、イオン、島鉄、島原市、島原市議会等の多大なご尽力により、令和4年春に、「イオン島原店」として建て替えオープ

ンする計画が本年 1 月に発表されました。私たちも安堵感とともに、2年後の新築オープンを今から心待ちにしているところであります。

このような折、本年2月、当会がイオンの役員の皆様と懇談しました際、市民の熱意と市の協力を基にした、イオンに負担のない提案をいただければ、文化ホール的なものを併設する計画は歓迎である旨、ご意見を賜りました。

この場所は、島原市の中央地区に位置し、周辺には湧水に恵まれた鯉の泳ぐまちや中央公園、湧水溢れる白土湖を源流とする音無川、すぐ山手側はアーケード商店街にもつながり、さらには交通や観光の要である島原鉄道・霊丘公園体育館駅や島鉄中央バスターミナルにも隣接しています。

また、万町アーケード商店街に面した、幕末に建造された「堀部邸」の保存・活用構想や島原万町湧水さらくマップの作成、令和6年に築造400周年を迎える島原城の各種記念事業計画等の進行とも相俟って、このような好適地に、「イオン島原店」が建て替えられようとするこの時期を、コンパクトシティの推進と中心市街地活性化の絶好の機会と捉え、今回、当会といたしまして、新築の「イオン島原店」に、島原市の公共施設として、人の集いと賑わいを生み出す、「文化ホール」の設置を提案いたしたいと存じます。

「文化ホール」の併設は、交流人口等の増大により、交通産業や地域経済の発展、島原の文化の創造にもつながるものと確信いたしております。

市長様におかれましては、事情ご賢察の上、どうかご検討、ご英断のほど、よろしくお願い申し上げます。